



つながろう

CO・OP アクション情報

2011年08月31日

創刊号

INDEX

みやぎ生協・南光台店営業再開・・・P01
ボランティア情報・・・P02～03
復興関連情報一覧・・・P04～06

◆「再開待っているから」との声に励まされた

～みやぎ生協・六丁の目店は8/20に営業再開

みやぎ生協・六丁の目店の営業再開は7/7の予定が8/20になりました。再開案内のチラシをパート職員たちが一軒ずつ配り歩くと、多くのメンバー（組合員）から「再開待っているから」「震災の時は店頭販売をありがとう」との声をもらいました。「皆、生協で働いていて良かったとあらためて思ったそうです」（若生明子くわこう・あきこ>店長）。

みやぎ生協は、メンバーと共に「支援バザー」や「夏祭り」を開催し、地域に六丁の目店の存在をアピール。

「メンバー活動と事業活動は別々と捉えていました。でも営業再開に向けて一緒に立ち上がる中で、事業活動とメンバー活動が重なったんです」（高橋朋子くたかはし・ともこ>理事）。

メンバー、パート、職員各人が復興への新たな決意を胸に、再開の日を迎えました。

東日本大震災から早くも半年近くがたちますが、被災地は現在も復旧・復興の途上にあります。『つながろう CO・OP アクション情報』では、被災地や全国各地の生協のさまざまな取り組みをご紹介します（隔週水曜日に日本生協連 HP にアップいたします）。

本日、南光台店営業再開

～8月31日朝10時、みやぎ生協・南光台店改修オープン～



明るく、きれいな店内は、多くの人でにぎわっていた。

8月31日、朝10時。改修オープンとなった南光台店に、メンバー（組合員）たちが次々と入店していきます。「元のきれいなお店に戻ってうれしいです」「南光台店が閉店して、当たり前なことのありがたさをあらためて感じました。開店待っていました！」と、メンバーは営業再開に喜びの声を上げていました。

3月11日から173日がたちました。宮城県でも沿岸部などに震災の爪痕がまだまだ深く残っています。その中で、被災地の生協は、一步一步、復興への歩みを進めています。南光台店（仙台市泉区南光台）は、みやぎ生協にとって5店目の改修オープンとなります（7月27日榴岡くつつじがおか>店、8月6日黒松店1階、8月10日新田東店、8月20日六丁の目店）。宅配（共同購入）による離島への配達もスタートしており、8月10日には寒風沢（さぶさわ）島への配達が始まっています。生協の店舗や配送車による商品の供給が、被災地の人々のくらし再建を力強く後押ししています。



寒風沢島への商品の配達。

買い物不便な離島への商品お届け

震災で津波被害を受けた寒風沢島。連絡船の便数は暫定運航で少なくかつ乗り継ぎで、島民自身も港に駐車していた車を流失し、日用品や食料品の買い物が不便になっている。こうした買い物に不便を強いられている離島へ、復旧・復興の一助になればと、離島への商品の配達をみやぎ生協では開始しており、寒風沢島は5つ目となる。